

たわ くつ  
**撓まず屈せず****(復興に向けた釜石市民へのメッセージ)**

予期せぬ悲劇。平成23年3月11日。この日を境に、私たちが愛するまちの景色や暮らしは一変しました。

世界最大級の地震と大津波で多くの市民が犠牲になり、残された私たちもこれまでに経験したことのない深い悲しみの中にいます。

その悲しみを思うとき、まさに身が引き裂かれる思いであります。

私たちのまちはこれまでも、明治、昭和の大津波により壊滅的な被害を受け、また戦災により一面焼け野原になるなど多くの試練に直面してきました。

しかし、そのたびに、それらを乗り越えてきた歴史があります。

このように私たちには、どんな困難にも決してくじけることのない「不撓不屈」の精神が脈々と受け継がれています。

今回の大震災においては、あまりにも多くの尊い命が失われてしまいました。いまだに行方不明の市民も多数に上ります。その悔しさ、その無念さを思えば、言葉になりません。

行方不明の方々の捜索には引き続き全力で取り組んでまいります。私たちに生きていた者の務めとして、いや生かされている者の務めとして、この愛するまちを次代に引き継いでいく使命があります。

私たちは、決して撓むことなく、屈することなく、この試練を乗り越えていかなければなりません。

釜石市民は、今から、復興に向けた一步を踏み出します。

新たな希望づくりに向けて、市民一丸となって手を携え、歩み始めましょう。

平成23年4月11日

釜石市民に向けて 釜石市長 **野田 武則**



## 釜石市復興まちづくり基本方針

### 1. 釜石市復興まちづくりの目指す方向性

災害との闘いに終わりはありません。私たちがこれからも永久にこの街で暮らしていくためには、これまでの防災などのまちづくりの方針を大きく変えなければなりません。安心した暮らしを取り戻し、未来の子どもたちの笑顔が輝く釜石市であるために、多くの犠牲から得た教訓を活かし、市民総参加のもと以下の基本的な方向性によるまちづくりを進めます。

- ①災害に強い都市構造への抜本的転換
- ②この地で生き続けるための生活基盤の早期復興
- ③逆境をバネにした地域経済の再建
- ④子どもたちが未来に希望を持てるまちづくり

### 2. 釜石市復興まちづくりスケジュール

- ①釜石市の復興計画を審議する市内各層の代表者による「釜石市復興まちづくり委員会」を設立するとともに、委員会に専門的に提案する学識経験者と市民代表などで構成する「釜石市復興プロジェクト会議」を平成23年5月までをめどに組織します。
- ②釜石市復興に向けたプロジェクトを示した「釜石市復興まちづくり基本計画（骨子）」を平成23年6月までをめどに、市民の皆さまにお示しいたします。
- ③釜石市復興まちづくり基本計画（骨子）を基に、釜石市の復興の礎となる「釜石市復興まちづくり基本計画」を市民一丸となって平成23年9月までをめどに策定します。
- ④釜石市復興まちづくり基本計画に基づいた復興プロジェクトを平成23年10月を目標にスタートさせます。

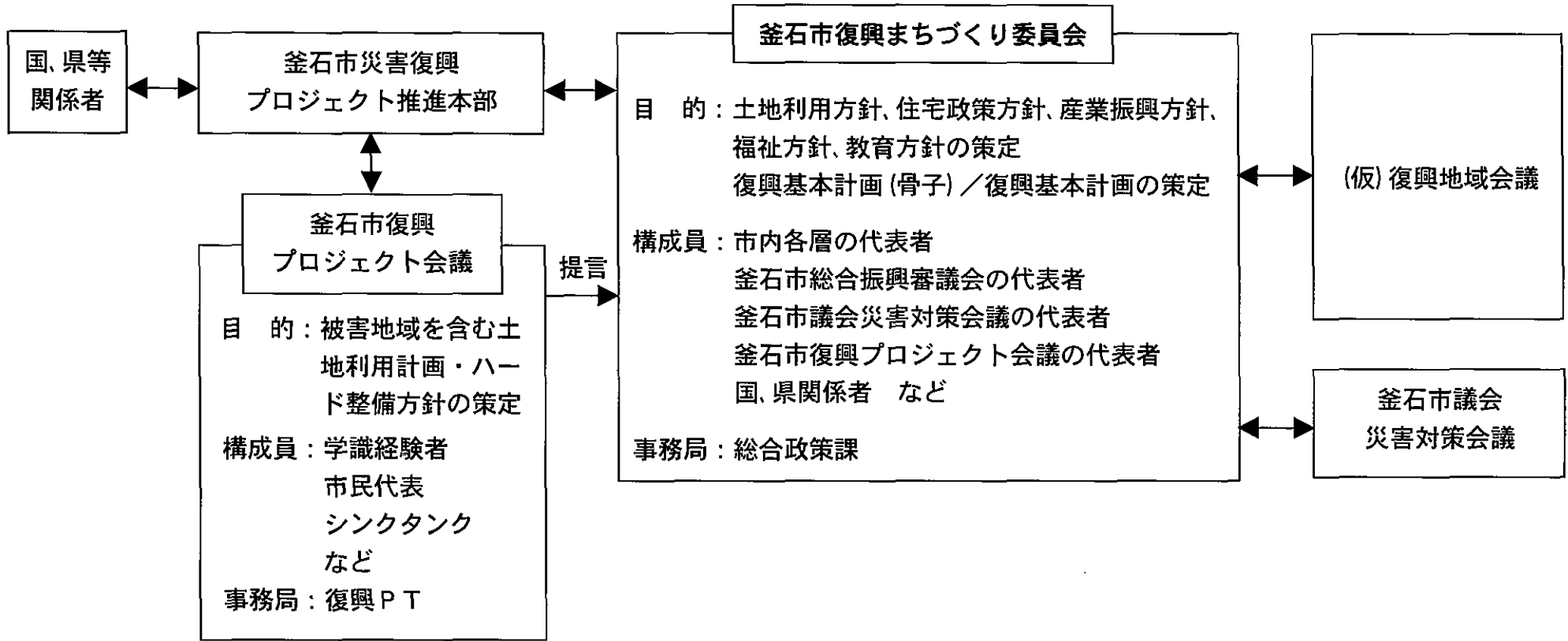
### 3. 復興に関する応急対応

復興プロジェクト始動までの応急対応として、がれきの撤去や地域コミュニティに配慮した仮設住宅の建設を進め、被災者の安全・安心の確保に努めます。また、緊急的な雇用の場の確保、仮設商店街の形成など経済対策を行うとともに、防災に配慮した避難システムの確保などの応急対応を進めてまいります。

本件に関する問い合わせ先  
釜石市災害復興プロジェクト推進本部



釜石市復興まちづくり基本計画策定にかかる検討組織図(案)



<復興計画スケジュール>

釜石市復興まちづくり委員会設置  
釜石市復興プロジェクト会議設置

